

## シャロームの回復 詩篇 122:1-9

2022. 8. 21 庄、丘 NO. 684  
春日部福音自由教会 山田豊

ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから、両国の国旗の上にシャロームと書いた紙を丘の上掲示板に張り出しました。このシャロームはヘブル語で、「平和」と訳されます。しかしこの言葉は、同じ聖句でも出版社によって翻訳の違いがあるように、多様な意味を含む言葉です。旧約では237回、詩篇では27回使用され、これに関連した言葉もあります。

詩篇122篇は、都のぼりの歌の中の一つで、都エルサレムの平和のために祈れ(6節)という言葉が印象的な詩篇です。

1 - 5節は、主の家である神殿に詣でることの喜びを歌っています。ダビデ、ソロモンによって建てられた神殿は破壊されましたが、エズラ、ネヘミヤの指導によって再建されました。そのころの歌であれば、都に上る喜びは、格別なものであったと想像されます。私たちにあって、毎週日曜日の礼拝に集うことは、このような喜びに満ちているのでしょうか。オンラインによる礼拝であったとしても、他の人々とともに神を礼拝する喜びを、いつも味わっていたいものです。

6節から9節は、祈禱文となっています。神の宮は、なんといっても祈りの家です(イザヤ56:7)。イエスも、神殿は祈りの家でなくてはならないと言われました(マタイ21:13)。その中にいるものに平和、平安があるように祈ることは、当然のことでしょう。教会の礼拝に連なる方々の平和、平安を祈ることは、いつの時代も同じことです。

しかしいま世界で起きていることは、教会堂やその関連施設が破壊されている国や地域がある、ということです。空襲警報が鳴っているエルサレムの知人から「私たちのために祈ってください!」というメールが届くのです。

今日、この6節にあるエルサレムの平和のために祈れ、とは、どのような意味を持っているのでしょうか。神によって造られた世界には、真のシャロームがありました。しかしいま、それが破壊されているのです。まず私たちが神に立ち返り、神のシャロームが回復することを、祈らなくてはならないのです。

ローマ5:1

こうして、私たちは信仰によって義と認められたので、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。

引用聖句

ローマ5:12 こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に

ローマ 8:21 被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由にあずかります。

ローマ 5:1 こうして、私たちは信仰によって義と認められたので、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。

マルコ 11:7 それで、子ろばをイエスのところに引いて行き、自分たちの上着をその上に掛けた。イエスはそれに乗られた。

黙示 5:6 また私は、御座と四つの生き物の真ん中、長老たちの真ん中に、屠られた姿で子羊が立っているのを見た。それは七つの角と七つの目を持っていた。その目は、全地に遣わされた神の七つの御霊であった。

マタイ 5:9 平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるからです。  
エイレーノイボス